

# 三条教区通信

## 第 49 号

発行日 2011年7月1日  
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57  
 変更⇒ E-mail: [sanjo@higashihonganji.or.jp](mailto:sanjo@higashihonganji.or.jp)  
 URL: <http://www.gobosama.net>  
 ★本通信は上記 URL からもご覧いただけます。

### 今月の法語

〔法語カレンダーより〕

## 煩惱の氷解けて 功德の水となる

【教行信証行巻】

### 東北地方太平洋沖震災 救援と復興支援

寺院教会定期便でも連絡がありますが、本山に寄せられた救援金の第1次給付の連絡がありましたので、お知らせいたします。

記

#### 東北地方太平洋沖地震救援金の第1次給付について(通知)

2011年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」への宗派対応の一環として、真宗本廟境内数各所での救援金箱の設置や救援金口座の開設、各教区での勧募奨励により、6月17日現在、既に4億8,000万円を超える救援金を宗派にお届けいただきました。

このたび、第1次給付として、2011年5月18日までに送金いただいた救援金を下記のとおり給付することになりましたので通知いたします。

- 1 救援金総額 375,708,857 円  
(2011年5月18日分まで)
- 2 救援金の第1次給付について

#### (1) 給付方法

救援金の半分を被災地の行政、残り半分を被災教区へ給付する。行政は市町村単位で、上限を1000万円、下限を50万円とし、被災状況に応じ

て給付し、行政給付分の中から、阪神大震災に倣い奨学金にあてる。教区へは奥羽・山形両教区へ各100万円、残金を仙台・東京両教区へ8:2の割合で給付する。

- (2) 給付総額 370,000,000.-  
(救援金残金5,708,857円は第2次救援金へ回付)
  - ① 被災市町村 6県63市町村 171,000,000.-
  - ② 奨学金(あしなが育英会) 10,000,000.-
  - ③ 奥羽教区 1,000,000.-
  - ④ 山形教区 1,000,000.-
  - ⑤ 仙台教区 150,000,000.-
  - ⑥ 東京教区 37,000,000.-
- 以上

※宗派の被災者救援につきましては本山ホームページ (<http://www.higashihonganji.or.jp/>) に掲載されておりますので、是非ご覧ください。また「三条教区仏青有志会」による救援ボランティアからの報告や連絡事項につきましては巻末コーナーに記載しております。

### 研修会等ご案内

#### ■ 児童夏の集い 開催案内既送

- ◆ 日時 2011年7月27日(水)～29日(金)
- ◆ 会場 鷹ノ巣キャンプ場
- ◆ 内容 今年の夏、友達と友達を探しに行こう
- ◆ 対象 小学3年生～中学3年生
- ◆ 参加費 9,000円
- ◆ 締切 7月11日
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。  
〔主催:教化委員会青少年研修会部門〕

### 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

2011年	
御正當報恩講	11月21日～11月28日

## 教化委員会からのお知らせ

### 三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

最終回は、研修部会委員の井上知法氏です。

\*\*\*\*\*

### 「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

第13組願性寺 井上 知法

「111ccfd3sedse33eees3a

前段の暗号？は「共にといえる人生を生きる」とは何だろうと真剣に、またイライラしながら考えているときに、二歳になった娘が横から打ち込んだものです。

普段は目に入れて鼻から出しても痛くない娘ですがこんなときは話が別です。俺が「共にといえる人生を生きる」を書いているのにまたいたずらしやがって、あっちいってろよ、いったい嫁はなにやってんだ、あつ、のんきに飯なんか作ってやがる(自分も食べるのだが)。俺がやりたくもない「共にと(略)」を書いているというのに、大体・・・

……このように世界は私を中心に廻っています。そんな私の課題はいかに周囲の人間をコントロールできるかにあり、それを保つことが「共にある」ということで、それが困難になると「なんと生き辛い環境なのだ」と嘆くこととなります。本より、そんなことできるはずもないのに、です。

「自分を中心に他者と生きる」ことの根本には甘えや依存があると理解していますが、その理解は剥きだされる感情の抑止には成りえてないようです。

そして、家庭生活の場だけではなく、僧侶として世間と接するときも「自分を中心に他者と生きる」という感覚は同様かもしれません。私が領いた教えにシンパシーを感じてほしいと伝えることは多々あるが、逆にどれだけ相手の声に耳を傾けたかと問われれば、決して十分ではないはずです。

真宗の教えの是非はともかく、「教化」といわれる行為を自己満足の種にしていたことは否めないと、今そう思います。

話は変わりますが、私は教区教化委員会・青少年部門幹事の任期がこの六月で満了になります。やってきたことといえば毎年行なわれる「別院フォーラム

というイベントの企画、実施ですが、三年間通して残るのは少々の達成感とそれ以上の空しさです。

少々の達成感とは、ある程度予想どりの参加者があったということ、要するにコントロールできたという満足感で、それ以上の空しさとは、だからといって、来場者と「共にある」とは実感できないことです。

毎年決まって感じる空しさは当たり前のことなのでしょう。来場者を、人を、数値で見ている限り私にとって、そこに温もりのあるつながりは芽生えません。

「共にといえる人生を生きる」ことについて考えて、文字にすると当たり前過ぎて恥ずかしいのに、実践が困難なこと…それは相手へのまなざしや、耳を傾けることをもっと大切にすること、です。

相手の姿も声も感じられなければ、私は常に一人ぼっちなのだから。

でもそんなことにも気付かず過ごしてしまうのも、また私なのですが…。

合掌

※教化委員会の任期満了に伴う改選が行われ、新年度から新メンバーによって教化事業の運営が進められます。事業報告・事業計画・顔ぶれは9月発行予定の『教区報』にて、お知らせする予定です。

### 保育大会兼新任者研修会に参加して

柏崎中央幼稚園 井上 理依子



保育大会兼新任者研修会では、まず、三条別院本堂のほうで新任の自己紹介と記念品授与式をしていただいた。そして、会議室のほうで「青少年教化」「真宗とは」の講義を受けさせてもらった。

今回保育大会兼新任者研修会に参加して、私は真宗保育とはどのようなものなのか考える機会をいただいた。私は大谷大学で幼児教育と真宗の勉強をした。もちろん真宗保育理念の「本願に生き、ともに育ちあう保育」この言葉は大学時代にも耳にしたけれど、どのような意味を持っているのか考えたことはあまりなかった。だから、この研修会に参加して保育、教育、子育てと真宗が関わりの深いものであると改めて知る

ことが出来た。

講義の中で印象に残っている言葉は、「教えはまず聞くことから始まる。聞き続けることでなにかきっかけがあり、自分を照らしだしてくれる何かに出遇える。だから聞いているところに真宗保育が広がっていくのである」という言葉である。私自身も、大学の講義やこのような研修の講義を聞くと、満足感やうなずきを感じることができる。これに気づくことで、自分自身を見直すことができるのだろうか。「教えはまず、聞くことから」を大事にしたいと感じた。

また、講義の中では「いのち」についても話されていた。大学でも「いのち」について大切に考えていたが、当たり前毎日を生きているから、自分の命はいただいたものだと言われても難しく、なかなか受け止められなかった。講義の中でもおっしゃられていたが、人は生きている以上、隣に死がある。つまり、いつ死ぬかわからない、自分では決めることができないということである。「いのち」は自分のものようだけれど、そうではなくいただいている「いのち」なのだと感じた。子どもたちにも「いのち」の大切さを伝えていくためには、まずは、私たち自身が「生老病死」というものを当たり前と思わず、しっかりと受け止めなくてはならないと思った。



このように、保育、教育、子育てと真宗が関わりの深いものであると改めて知ることが出来たが、今はまだ私には、関わりの深いものということが分かっただけなので、どのように関わりがあるのか、日々の生活の中やこのような機会を通してまた学んでいきたいと思う。



## 若手寺族研修会報告

去る4月14日に13組、宮原の善行寺様にて三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回遠忌委員会、同朋会運動推進部会主催で若手寺族研修会が開催されました。



講師には前日行われた浄泉寺様での初日に引き続き、武田定光氏を講師に迎え、テキストである『宗祖親鸞聖人』の第五章、第六章を元に独自の視点からの真宗についてお話いただきました。前日と同じテーマの話という事で、武田先生には話しにくい環境の中であつたかとも思うところですが、この若手寺族研修での武田先生のお話を初めてお聞きする私にとって、大変興味深く、出来る事であれば3年前の初回からお聞きしたかったと少し後悔も残りました。

さて、内容はどうであつたかと申しますと、テキストの第五章、第六章の法語から真宗を顧みるものでしたが、武田先生の著作である『逆説の親鸞』の中からの「浄土教に敵対した正道門の側に私を置いていないか。」という言葉に、先生の独自の視点といいますか、今まで気付く事になかった考え方のアプローチでの話の展開には、はっと気付かされる私がおき、また原点に返らされるような感覚を覚えました。このような感覚というのは慣れにも似た、自分の立ち位置を勝手に作り上げてしまっている自分をリスタートさせる原動力になるものかと思います。そのような意味からも大変有意義なご縁を頂いたと考えるところであります。

この研修会の「若手寺族」と銘打っている意味合いとして、今後を担う若手の研鑽の場を設ける事があると思います。同年代の方にもっと研修会に顔を出していただき、今後の宗門を担う者として朋に歩んでいけたらと思います。(松浦)

## 教務所からのお知らせ

### ◎年度初め諸会議日程

本年度は御遠忌の厳修に伴い、本山・教区とも

諸行事がおよそ一ヶ月遅れとなっております。このため、教区内の皆さまにはご迷惑をおかけいたしておりますが、標記所会議日程も例年に比べ遅れがちとなっておりますので、恐縮ではございますがご了承の程お願い申し上げます。下記の日程で予定いたしておりますが、やむを得ぬ事情により変更となる場合もございますので、併せて予めご了承の程お願いあげます。

## 記

8 / 18	14 : 00	教区会参事会
8 / 19	14 : 00	教区門徒会常任委員会
8 / 22	14 : 00	三条別院責任役員会
8 / 23	14 : 00	教区会決算委員会
8 / 24	14 : 00	教区会予算委員会
8 / 25	13 : 30	教区会
8 / 30	10 : 00	教区門徒会
9 / 2	14 : 00	三条別院院議会
9 / 5	13 : 30	正副組長会

## ◎三条教務所人事異動のお知らせ

三条教務所嘱託(教区駐在教導業務)の北島栄誠氏が退職、後任に藤波法英氏が就任されましたので、報告いたしますと共に、退任と就任の挨拶をお伝えいたします。

## 退任ご挨拶

謹啓 梅雨の候 三条教区内の御寺族、御門徒をはじめとする御同行の皆様方には、益々御清祥の事と拝察申しあげ大慶に存じます。

私儀

このたび、一身上の都合により、6月30日付にて、三条教務所を退職させていただくこととなりました。顧みますと、2007年9月に、「教区雇員の駐在を・・・」という教区の願いを受けてよりこのかた、右も左もわからなかった私にとって、この三条教区において、一からのお育てをいただきました。そのことを考えますと、皆様のおかげ様で職務を全うできたことを感謝せずにはおれません。ご迷惑をおかけし、多くの叱咤をいただきながら、私が5年間という長い間、精進する事が出来ましたのも、親身に関係を結んでくださった、多くの御同行の皆様方の御厚誼と御温情の賜ものと厚く御礼申しあげる次第でございます。本来なれば、お育てを賜った皆様方お一人おひとりに一々拝眉の上、御挨拶申しあげるべきでございますが、取り敢えず、誠に失礼ながら粗書を以って御挨拶申し上げますとともに、三条教区の御同行の皆様方の益々の発展と、仏法興隆を衷心より念じあげ、退職のご挨拶とさせていただきます。今後とも引き続き、変わらぬ御指導御鞭撻と、お付き合

いの程、お願い申し上げます。

敬白

2011年6月30日

北島 栄誠

## 就任ご挨拶

拝啓 盛夏の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私儀

このたび 三条教務所(三条教区駐在教導業務)嘱託として命ぜられ 7月1日付をもって着任いたしました藤波法英と申します。

身にあまる重責と感じておりますが、皆様のご期待に添うよう努力いたす所存です。

つきましては、何卒前任者同様に格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

略儀ながら書中をもちましてご挨拶させていただきます。

敬具

2011年7月1日

藤波 法英

## ◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・藤波まで)

## ◎諸団体との共同事業のご紹介

派外諸団体との共同事業につきましては、研修会ご案内等を通じてお知らせいたしておりますが、結成から年月が隔たって来ましたので、確認の意味で改めてかいつまんで紹介させていただきます。

(なお派内では各種団体のほか、所長主計会・正副議長会・正副門徒会長会など、全国・連区レベルでの役職者交流事業も行われております。)

## ①教団連合県支部の活動と紹介

既にご承知のことですが、加盟教団は真宗大谷派三条教区・真宗大谷派高田教区・浄土真宗本願寺派国府教区・浄土真宗本願寺派新潟教区・真宗仏光寺派新潟教区・真宗高田派新潟組です。

御遠忌直前の去る3月2日、高田別院会場で、講師に井上円さんを招いて「親鸞の名告り」と題した寺院研修が開催されました。2010年11月30日にも青木悦さんをお招きし、「子供たちの現状と未来を考える」公開公演が開催されました。新潟親鸞学会との連携も続けられております。今後も、寺院

研修、公開公演、2012/9/29 宗祖御遠忌・真宗教団連合結成40周年記念イベントなどが予定されておりますので、詳細が決まり次第、随時ご案内申し上げます。

## ②新潟同宗連活動報告

先に部落解放全国研究集会案内のとき書きましたが、「同和」問題にとりくむ新潟県宗教団連帯会議(新潟同宗連)は、次の教団で構成されています。

浄土真宗本願寺派国府教区教務所・浄土真宗本願寺派新潟教区教務所・浄土宗新潟教区教務所・県神社庁・真宗浄興寺派・真宗大谷派三条教区教務所・真宗大谷派高田教区教務所・真宗仏光寺派新潟教区教務所・曹洞宗新潟県第1宗務所・曹洞宗新潟県第2宗務所・曹洞宗新潟県第3宗務所・曹洞宗新潟県第4宗務所・天理教新潟教区・日本基督教団関東教区新潟地区・日本聖公会中部教区新潟伝道区・日蓮宗新潟県東部宗務所・立正佼成会新潟教区。ほかに、現在カトリック新潟教区も加盟予定。

おもな行事は人権同和センター、また人権同和センターが実行委員会に加わっての「いのち・愛・人権」展、解放同盟旗開きへの参加、加えて今年度は全国研究集会参加となりました。

部落差別をはじめ、さまざまな差別事象への取り組みが続けられておりますが、法案要請、差別裁判とのたたかい、人権政策確立キャラバン隊参加などが行われました。教区からのご参加が少なく、いつも決まった顔ぶれが参加されることが多く、幅広く多数ご参加いただくことが課題となっております。

## ③部落解放同盟新潟県連

2011.5.29 の定期大会では、全国研究集会実行委員会への県知事からの感謝状披露 県内国会議員への人権議連加入要請 上越市議会の人権侵害救済法早期制定への意見書採択などが紹介された。今度の震災における東北地方救援事業について、現地から謝意を受けていること、狭山差別裁判への取り組み、全証拠開示がポイントであることなど、活動報告がありました。

ご承知の通り、部落解放を中心に多くの活動を展開されていますが、研修会関係だけでも全国、東日本、県と毎年実施され、差別の克服が願われています。

## ④県人権同和センター

先ごろ10周年総会にて、事業報告と事業計画、予決算、法人化への定款などが承認されました。自治体などの行政・県同和教育研究協議会・解放同盟・同宗連・企業・政党・自治労や高教組などの組合・人権団体が構成され、啓発を目的に事業を進めております。

同センターでは人権同和教育指導者養成講座、人権政策確立キャラバン隊などを実施するほか、解放同盟、人権展への協力が実施されております。

以上ご紹介いたしました諸団体の活動もようやく定着してまいり、恒例の事業も多くなってきております。各宗教教団としても出来ることで連帯している現状です。今後とも各種研修会ご案内など、可能な限りお伝えして参ります。



教団連合寺院研修会



解放同盟全国研究集会



解放同盟旗開き



「いのち・愛・人権」展

## ◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

### ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

☆6/26～8/6 福嶋龍徳 氏(熊本教区)

☆8/7～9/17 高橋法信 氏(大阪教区)

☆9/18～10/29 日野賢之 氏(小松教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

\*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちが

あなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。是非、ご聴取ください。

### ◎教務所事務休止について

下記のとおり教務所事務を休止とさせていただきます。期間中まことに御迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしくお祈りいたします。

①期間2011年8月10日～2011年8月16日

②緊急連絡先

- ・三条別院 0256-33-0007
- ・加田岡主計 0749-85-4527(圓長寺)

### ◎ 教区他 主な行事予定一覧(6月30日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日 時	行事内容
<b>2011年</b>	
<b>7月</b>	
7/2	真宗学院
7/8	保育協会支部理事会・総会
7/9	真宗学院 19組推進員養成講座 16組聞法の集い
7/11 14:00 14:00	坊守役員会 仏青有志会
7/14	教化センター 真宗学院同窓会総会
7/15 14:00 14:00	真宗学院運営委員会 児連・仏青 15組有縁会
7/16	真宗学院
7/18	15組推進員総会
7/21	教化センター
7/23	真宗学院 前期試験
7/26 13:00	推進員連絡協議会
7/27	～29日 第49回児童夏の集い
7/29	企画委員会
<b>8月以降の予定</b>	
8/3 14:00	ご依頼適正委員会
8/5 14:00	教化委員会
8/9 14:00	御遠忌委員会
8/10	～16日 教務所事務休暇
8/18 14:00	教区会参事会
8/19 14:00	教区門徒会常任委員会
8/20	真宗学院
8/21	真宗学院特別講義

8/22 14:00	三条別院責任役員会
8/23 14:00	教区会決算委員会
8/24 14:00	教区会予算委員会 16組教化委員会
8/25 13:30	教区会
8/27	真宗学院
8/30 10:00	教区門徒会
9/2 14:00	三条別院院議会
9/3	真宗学院 21組公開講座
9/5 13:30	正副組長会
9/13	～19日 真宗学院前期教師修練
9/9	16組声明講習会
9/10	19組推進員養成講座
9/13	～19日真宗学院前期教師修練
9/24	真宗学院
9/29 13:00	16組坊守会学習会
9/30	査察委員任期満了
10/1	真宗学院 ～2日 宗徧流茶会
10/8	真宗学院 19組推進員養成講座
10/15	真宗学院
10/22	真宗学院
10/29	真宗学院
11/5	～8日三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12	真宗学院
11/19	真宗学院 19組推進員養成講座
11/21	～28日 日本山御正當報恩講
11/26	真宗学院
12/2	～4日 19組養成講座後期上山
12/3	真宗学院
12/5	～6日 法灯の集い
12/9 13:00	16組坊守会学習会
12/10	真宗学院
12/17	真宗学院学年末試験
12/31 11:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
<b>2012年 同朋会運動50周年</b>	
1/1 00:00	三条別院修正会
2/25	～26日 真宗学院一泊研修会
3/31	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30	参議会議員任期満了

## 駐在教導のつばやき

～北島之篇～

「願いがあれば」

この言葉は、私が就任当初、先輩職員から聞かされていた言葉である。

私の願い？

正直、私は救われたかった。中越地震の被災から……。復興したかった。

聖典を読めば読むほど(※当方、洋画の字幕についていけないくらい、読むのが苦手である。よって斜め読みが多い かしこ)、逃げれない私の現実、宿業がそこにはあった。であれば、何がしたいのか？悩みに悩んで教える聞いていくしかなかった。それを味わい。「美味しいから」「楽しいから」と勧める。それが「駐在」の仕事であろうと思った。まずは、この現実を楽しまなければと願った。

このたび、50年に一度という御遠忌の勝縁をいただき、5月に参拝させていただいた。

涙が出てきた。「わたしは、御遠忌にお参りしたかったんだ」

答え？が出たのか？というより、今に至るまで出遇った多くの方々の顔を思い出した。私にとって、一人として欠けると今の私が居なくなるのではないかというくらい、大切な顔ばかりである。

「何一つ、自分でやれることはなかったなあ」  
バレないように涙を拭いてみたが、止まらなかった。

今は、「願いがあれば」というよりも「願いがあるから」ここまでやってこれた。そんなことを感じている。

有り難いことです。

## 所員のささやき ~史陀之篇~

今回の「所員のささやき」は、若手寺族研修会報告として書かせていただきます。

2011年4月13日に、第21組浄泉寺を会場に、武田定光先生を講師にお招きし、新潟地区若手寺族研修会が開催されました。

武田先生は、講義の冒頭で東日本大震災についてお話されました。「千年に一度の大震災という目の前にある現実から『問われているもの』は何なのか。自然が出した眼前にある『答え』から私たちは見えない『問い』を探さなくてはならない。その『問い』の一端は、私たちが今まで何を拠り所にしてきたのかということであり、『南無』の質が問われているのである」と先生はおっしゃいました。

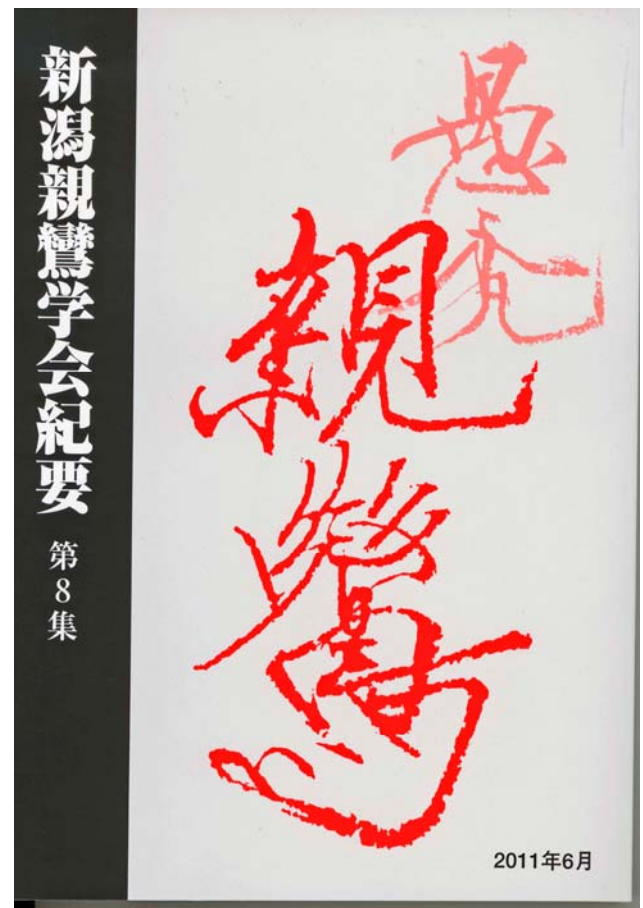
私は、この震災の直接の被災者ではありません。自らの目で被災地をまだ見ていません。そんな私は、まだ、この震災を自らの課題に出来ていないです。それが証拠に、私の生活は震災以前、以降でなんら変化

が無く、また、被災地に対する関心も月日が経つとともに、徐々に薄れていっているのが現状です。

この震災を自らの課題に出来ないということは、「現実」から目を背けていることであり、想像力の欠如であると思います。原発問題や地震、津波の被害が自らに降りかからなければ、自らの課題に出来ないということは、愚かなことだと思います。

この文書を書きながら思ったことは、震災という「現実」を自らの課題に出来ない無関心な私は今、その在り方を問われているということです。

## 新潟親鸞学会からのお知らせ



『新潟親鸞学会紀要』第8集発行しました。

当事務局へお求めいただくと送料が加算されるため、一般書店の店頭でお求めいただくか、あるいはISBN番号で書店で取り寄せ注文していただくと、送料が不要となります。

2011年6月16日発行 A5 128頁 定価1,100円(税込) 発売元 (株)新潟日報事業社 ISBN978-4-86132-461-1 一般書店でお求めに出来ます。

内容：

〔法宝物紹介〕最福寺所蔵の十字名号……田子了祐  
巻頭言

〔講演〕親鸞教義に学ぶ ―今、この私が何を学ぶか  
……………林 智康

〔研究発表〕江戸初期の真宗寺院創設について  
―江戸初期の真宗寺院創設について…

……………鷺尾恵水  
恵信尼文書の気になるところ……………太田空賢

現代心理学者における仏教受容の諸相……………  
……………斎木浩一郎

本願寺派声明の特性について……………丸山文雄  
〔エッセイ〕随想……………河合正樹

献体感謝状……………富沢慶栄  
〔報告〕茨城県立歴史館「親鸞展」と関東二十四輩を  
巡る旅……………清水幸榮

訪中史跡研修旅行報告……………東護琢史  
〔特別講座〕親鸞伝を考える

―親鸞聖人御因縁への史料批判を手がか  
りに……………井上慶隆

〔資料続編〕佐藤扶桑「恵信尼公論」  
学会事務局経過報告

編集後記

以上

「親鸞となむの大地―越後と佐渡の精神的風土  
―」展 2014（平成26年）4月26日（土）～6月  
8日（日）開催予定 新潟親鸞学会では、宗祖親鸞  
聖人750回ご遠忌記念行事として、新潟県立歴史博  
物館を会場として企画展を開催の予定です。現在、  
新潟日報社と付帯イベントの協議中です。いずれ企  
画展および関連事業の詳細をご報告します。

#### 【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局／超願寺内（〒951-8061 新潟  
市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

## 有志会ボランティアのコーナー

これまでの救援物資とご協力、先の別院フォー  
ラムにおける救援物資の募集につきまして、大きな  
お力添えを賜りました。教区における被災者への  
思いのあらわれと感じ、有志会より厚く御礼申し上  
げます。

こちらの勝手な要望でほとんどの物を新品で  
と希望したため、皆様には新しい物をお買い求  
めいただき、お持ち寄りいただくことになり大  
変申し訳ありませんでした。おかげさまで車に  
積みきれないくらい多くの物資が集まりました。

集まった物資は、6月14日より3名で仙台  
仏青のみなさんのところに届けてまいりました。  
翌15日、仙台仏青のみなさんとご一緒させて  
いただき、石巻市牡鹿半島の旧大原中学校避難  
所にて無料バザーで避難されている方々に直接  
届けてまいりました。

避難所で夕食を避難されている方々、仙台仏  
青のみなさんとご一緒させていただき、三か月  
たった今でも行政からの一次金も届いていない  
地域があることや、暑くなってきたのに、冷蔵  
庫がないために食品の保存ができないなど、さ  
まざまな問題をお聞きすることができました。  
仙台仏青のみなさんは冷蔵庫を買って軽トラッ  
クに積んで運び設置することもされていました。  
現地へ行くといろいろな問題点が見えてきます。

できることを考えていかなければと感じまし  
た。

また6月7日～9日の日程で2名の方々が東  
京教区のみなさんと合同作業をしてきました。  
復興支援センターのコーディネイトのもと、仙  
台市内六郷中学校にて炊き出し作業でした。  
今後も各方面と情報交換、協力して被災地復興  
の一助となるべく、お手伝いさせていただき  
たいと思います。

※すでにご存じのかたもたくさんおられると思いま  
すが、東日本大震災関連の大谷派の支援団体  
のホームページを紹介します。

#### ①仙台仏青

<http://namaste.digick.jp/>と

<http://namaste.digick.jp/>

#### ②東京教区茨城1組の有志の方々

<http://ibaraki1kumi.blog.fc2.com/>

ときどき覗いてみてください。

※メール配信をご希望の方は…

「[shinsho@nct9.ne.jp](mailto:shinsho@nct9.ne.jp)」

（三条仏青有志会連絡係 藤井信彰（14組長楽  
寺）までご連絡ください。